

カネパッケージ株式会社



「包む」技術を進化させ「驚き」と「感動」と「安心」をモットーに
“空気を綺麗にする夢のパッケージ”をご提供します。

○ 当社の歴史

カネパッケージの歴史は、小さな加工所からの出発でした。

1976年に会長の兼平作太郎が創業・設立した当時、梱包に使われていたのは木毛（もくも）や藁でした。電子機器製品が世の中に大量に始まった頃、いち早く緩衝性能の高いカネカの発泡ポリプロピレン“エペラン”を採用し、高い信頼性能で電子機器製品を守る事に成功しました。それにより、無線機・大型電子計算機から始まり、ワープロ・コンピューターなど衝撃の弱い製品の梱包材ビジネスに繋がりました。

当時ではまだ珍しい輸送梱包作業まで請負い、大きく業績を伸ばし、1996年に初の海外進出をしました。1997年に社長の金坂良一が海外事業責任者として事業を拡大し、現在では国内7拠点（本社含む）、関連グループ会社3拠点、またフィピンを始め海外5ヵ国14拠点に工場・事業所などを展開し、グローバルネットワークを構築しております。

○ 事業概要

当社は「梱包事業」をベースとし、「物流倉庫事業」「医療機器製造事業」「映像事業」「人材派遣事業」などを行っております。

梱包事業では、1) 環境設計提案、2) 物流設計提案、3) コスト設計提案を弊社のコア技術であります「究極の緩衝設計」を駆使し、安全で包み運ぶことはもとより、梱包材のダウンサイジング化、省資源化、積載効率のUP、トータル梱包材物流コストの効率化の提案をしております。また、環境負荷低減を進めてく

で、Co2の削減を事業のオペレーションと商品設計開発から積極的に行っております。特に、当社の社会貢献活動として、フィリピン政府環境省とタイアップし、環境保護区へのマングローブ植林活動を2009年から開始しました。年間100万本の植林を実施し、2021年には累計1200万本を植樹しました。マングローブ植林活動ではCo2を吸収するだけでなく、光合成を通じ酸素の排出を行い、水の浄化、海岸線の保護、渡り鳥の保護、海洋生物の多様性保護を合わせて行うよう活動しております。

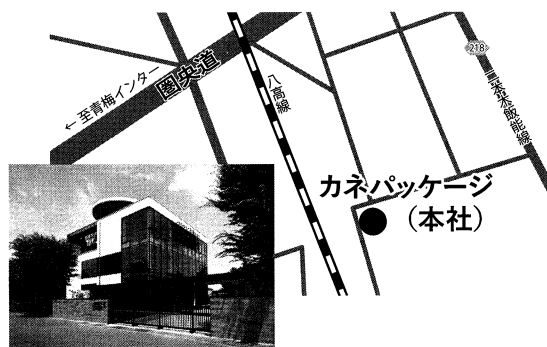
○ 代表の思い

当社代表の金坂は、「経営者が目指すべきなのは、利益を追い求めることだけではなく、そこで働くのが幸せで楽しい事だと従業員たちが感じていなければ、企業として長続き出来ない」と常々話しております。それが、「驚きと感動」を伝え合える経営環境・職場環境です。

そのためには、未来志向の優れた事業と優れた社員により、社会の役に立ち、人々を幸せにして行く企業（徳のある企業）と、働いている人が幸せで、優れた能力を無限大に発揮できる企業（徳のある社員）が必要です。私達は以上のことをこれからも心掛けていきます。

○ 今後について

カネパッケージは世界をリードするプロのパッケージ会社として、パッケージ技術力の進化を追求し変化を先取りし、常に成長していく企業であり続け、真のエクセレントカンパニーを目指して進化していきます。



- 事業所名 カネパッケージ株式会社
- 代表者 代表取締役社長 金坂 良一
- 住所 (本社) 埼玉県入間市南峯 1095-15
(東京営業所) 東京都青梅市今井 3丁目 4-23
- TEL 04-2936-3031



緩衝性能向上
CO2排出量削減を実現

【設計開発の事例】

発泡緩衝材から段ボール緩衝材への素材と仕様変更